
霄壤

サトシ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

霄壤

【Nコード】

N8371F

【作者名】

サトシ

【あらすじ】

「霄壤」の言葉の「霄」の言葉をよく使っ人を思って書きました。意味不明な詩ですが、宜しければ読んで見て下さいな」

霄壤…

天と地…

今生きているこの場所

天と地

地に足を着けて…

天を仰ぐ…

私は不器用で弱い人間だから…

誰かにすがって生きている…

そうさ…

情けない奴さ…

救いの無い狂喜の世界で…

私はなにを求めてさがすのか…

わからない…

わからないから誰かにすがりついて泣いている

一人じゃ強がりの仮面被っていて…

いつも仮面の下は涙で溢れているのに…

誰にも見せない…

本心の弱き心…

いつも隠して私は作り笑顔で人に接する

一人は淋しいから…

嘘の仮面に嘘をつく心持って

ひたすらに人の顔色伺い

私は何を隠す？

なんで泣きたいのに涙が出せない…

涙が枯れてしまったのかな？

心が渴いてしまったのかな？

悲しみや苦しむ事に麻痺してしまったこの心を

癒してくれる人を求めて彷徨う

仮面舞踏会の中を…

そして見つけた

心にでっかい傷を持ちながらも

素顔で仮面を着けて居ない人を…

とても強く…

太陽の様に明るいい心を持った人に

私はこの優しさに包まれて

嘘の仮面を脱ぎ捨てて

素顔の自分をさらけ出してみた

私の素顔を見た貴女は…

とても苦しかったね…

とても悲しかったね…

と言ってくれて…

私を腕の中

に抱いてくれた

枯れてしまった筈の涙が…

心の底から溢れ出す

そして暖い太陽に包まれた私は

自分の仮面を壊した

自分を作る必要が無くなったから

霄壤のはざまでは私は力をもらった

またまだ倒れる訳には行かない…

前へ…

ひたすら前へと歩いて行く

この歪んだ霄壤の間で…。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8371f/>

霄壤

2010年10月28日07時30分発行